



show コマンド

この章では、システム管理 **show** コマンドについて説明します。

show diagnostic bootup level

スイッチ上の現在のブートアップ診断レベルを表示するには、**show diagnostic bootup level** コマンドを使用します。

show diagnostic bootup level

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、現在のブートアップ診断レベルを表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic bootup level

Current bootup diagnostic level: complete

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
diagnostic bootup level	より高速なモジュールのブートアップ時間に対するブートアップ診断レベルを設定します。
show diagnostic result	診断テストの結果を表示します。

show diagnostic result

診断テストの結果を表示するには、**show diagnostic result** コマンドを使用します。

show diagnostic result module {*module-no* | **all**}

構文の説明	module	診断結果が表示されるモジュールを指定します。
	<i>module-no</i>	モジュール番号。有効値は、1～3 です。
	all	すべてのモジュールの診断結果を表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、指定したモジュールの診断結果を表示する例を示します。

```
switch# show diagnostic result module 1

Current bootup diagnostic level: complete

Module 1: 48X10GE/Supervisor SerialNo : JAF1339ANGH

Overall Diagnostic Result for Module 1 : PASS
Diagnostic level at card bootup: complete

Test results: (. = Pass, F = Fail, I = Incomplete,
              U = Untested, A = Abort)

  1) TestUSBFlash -----> .
  2) TestSPROM -----> .
  3) TestPCIE -----> .
  4) TestLED -----> .
  5) TestOBFL -----> .
  6) TestNVRAM -----> .
  7) TestPowerSupply -----> F
  8) TestTemperatureSensor -----> .
  9) TestFan -----> .
 10) TestVoltage -----> .
 11) TestGPIO -----> .
 12) TestInbandPort -----> .
 13) TestManagementPort -----> .
 14) TestMemory -----> .
 15) TestFabricEngine :

Eth   1  2  3  4  5  6  7  8  9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
Port -----
      . . . . .
```

show diagnostic result

```
Eth  25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
Port -----
. . . . .
```

16) TestFabricPort :

```
Eth   1  2  3  4  5  6  7  8  9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
Port -----
. . . . .
```

```
Eth  25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
Port -----
. . . . .
```

17) TestForwardingEngine :

```
Eth   1  2  3  4  5  6  7  8  9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
Port -----
. . . . .
```

```
Eth  25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
Port -----
. . . . .
```

18) TestForwardingEnginePort :

```
Eth   1  2  3  4  5  6  7  8  9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
Port -----
. . . . .
```

```
Eth  25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
Port -----
. . . . .
```

19) TestFrontPort :

```
Eth   1  2  3  4  5  6  7  8  9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
Port -----
. . . . .
```

```
Eth  25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48
Port -----
. . . . .
```

switch#

関連コマンド

コマンド	説明
diagnostic bootup level	より高速なモジュールのブートアップ時間に対するブートアップ診断レベルを設定します。
show diagnostic bootup level	起動時診断レベルを表示します。

show hosts

ドメイン ネーム サーバ (DNS) のネーム サーバおよびドメイン名を表示するには、**show hosts** コマンドを使用します。

show hosts

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ホスト名の解決に使用する DNS サーバの IP アドレスを表示する例を示します。

```
switch# show hosts
DNS lookup enabled
Default domain for vrf:default is mysite.com
Name/address lookup uses domain service
Name servers are 255.255.255.255
```

Vrf	Use-vrf	Token	Config
default	management	domain	mysite.com
default	management	add. domain(s)	mysite2.com

Host	Address
switch#	

関連コマンド

コマンド	説明
ip domain-list	ドメインのリストを定義します。
ip domain lookup	DNS ベースのホスト名からアドレスへの変換をイネーブルにします。
ip domain-name	ネーム サーバを設定します。

show ip dns source-interface

ドメイン ネーム サーバ (DNS) ドメイン ルックアップ用に設定された送信元インターフェイスを表示するには、**show ip dns source-interface** コマンドを使用します。

```
show ip dns source-interface [vrf {vrf-name | all | default | management}]
```

構文の説明

vrf	(任意) 仮想ルーティング/転送 (VRF) インスタンスに関する情報を表示します。
<i>vrf-name</i>	(任意) VRF 名です。名前は最大 32 文字で、大文字と小文字が区別されません。
all	(任意) すべての VRF インスタンスを示します。
default	(任意) デフォルトの VRF の情報を表示します。
management	(任意) 管理 VRF 情報を表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、DNS ドメイン ルックアップ用に設定された送信元インターフェイスを表示する例を示します。

```
switch# show ip dns source-interface
VRF Name          Interface
default           Ethernet1/5
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip domain-lookup	DNS ルックアップ機能をイネーブルにします。
ip dns source-interface	DNS ドメイン ルックアップ用のインターフェイスを設定します。

show logging console

コンソール ロギングの設定を表示するには、**show logging console** コマンドを使用します。

show logging console

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、コンソール ロギングの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging console
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging console	コンソールへのロギングを設定します。

show logging info

ロギングの設定を表示するには、**show logging info** コマンドを使用します。

show logging info

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ロギングの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging info
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging level	定義済みファシリティからのメッセージ ロギングをイネーブルにします。

show logging last

ログ ファイルの末尾から指定数の行を表示するには、**show logging last** コマンドを使用します。

show logging last *number*

構文の説明	<i>number</i>	表示する行数を 1 ~ 9999 の範囲で入力します。
-------	---------------	-----------------------------

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例 次に、ログ ファイルの最後の 42 行を表示する例を示します。

```
switch# show logging last 42
```

関連コマンド	コマンド	説明
	logging level	定義済みファシリティからのメッセージ ロギングをイネーブルにします。

show logging level

ファシリティ ログイング重大度の設定を表示するには、**show logging level** コマンドを使用します。

show logging level [*facility*]

構文の説明	<i>facility</i>	(任意) ログイング ファシリティ。ファシリティのリストを付録 A「システムメッセージ ログイング ファシリティ」の表 A-1 に示します。
-------	-----------------	--

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
	5.0(3)N1(1)	マルチキャストおよびユニキャスト ルーティング機能のサポートが追加されました。
	5.0(3)N2(1)	Flex Link および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) の N ポート バーチャライザ (NPV) のサポートが追加されました。

例 次に、EtherChannel ログイング重大度の設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging level port-channel
```

次に、Flex Link ログイング重大度の設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging level flexlink
Facility          Default Severity      Current Session Severity
-----          -
Flexlink          2                      5

0 (emergencies)   1 (alerts)            2 (critical)
3 (errors)        4 (warnings)         5 (notifications)
6 (information)   7 (debugging)
```

```
switch#
```

次に、FCoE NPV ログイング重大度の設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging level fcoe_mgr
Facility          Default Severity      Current Session Severity
-----          -
fcoe_mgr          2                      3

0 (emergencies)   1 (alerts)            2 (critical)
3 (errors)        4 (warnings)         5 (notifications)
6 (information)   7 (debugging)
```

```
switch#
```

| 関連コマンド

コマンド	説明
logging level	ファシリティ ログング レベルを設定します。

show logging logfile

入力した範囲内でタイムスタンプが設定されているログ ファイルのメッセージを表示するには、**show logging logfile** コマンドを使用します。

```
show logging logfile [start-time yyyy mmm dd hh:mm:ss] [end-time yyyy mmm dd
                    hh:mm:ss]
```

構文の説明

start-time yyyy mmm dd hh:mm:ss	(任意) 開始時間を yyyy mmm dd hh:mm:ss の形式で指定します。月 (mmm) フィールドに 3 文字を、年 (yyyy)、日 (dd) フィールドに数字を、および時刻 (hh:mm:ss) フィールドにコロンで区切られた数字を使用します。
end-time yyyy mmm dd hh:mm:ss	(任意) 終了時間を yyyy mmm dd hh:mm:ss の形式で指定します。月 (mmm) フィールドに 3 文字を、年 (yyyy)、日 (dd) フィールドに数字を、および時刻 (hh:mm:ss) フィールドにコロンで区切られた数字を使用します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

終了時間を入力しないと、現在の時間が使用されます。

例

次に、示されている範囲内でタイムスタンプが設定されているログ ファイルのメッセージを表示する例を示します。

```
switch# show logging logfile start-time 2008 mar 11 12:10:00
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging logfile	ログ ファイルへのロギングを設定します。

show logging module

モジュール ロギングの設定を表示するには、**show logging module** コマンドを使用します。

show logging module

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、モジュール ロギングの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging module
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging module	モジュール ロギングを設定します。

show logging monitor

モニタ ロギングの設定を表示するには、**show logging monitor** コマンドを使用します。

show logging monitor

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、モニタ ロギングの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging monitor
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging monitor	モニタにロギングを設定します。

show logging nvram

Nonvolatile Random Access Memory (NVRAM; 不揮発性 RAM) ログのメッセージを表示するには、**show logging nvram** コマンドを使用します。

show logging nvram [*last number-lines*]

構文の説明

last number-lines (任意) 表示する行数を入力します。1 ~ 100 の範囲で指定します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、NVRAM ログの最後の 20 のメッセージを表示する例を示します。

```
switch# show logging nvram last 20
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging level	定義済みファシリティからのメッセージロギングをイネーブルにします。

show logging onboard

エラーのタイプに基づいてオンボード ログング情報を表示するには、**show logging onboard** コマンドを使用します。

```
show logging onboard {boot-uptime | device-version | endtime | environmental-history
| exception-log | kernel-trace | obfl-history | obfl-logs | stack-trace | starttime |
status} [> file | | type]
```

構文の説明

boot-uptime	Onboard Failure Logging (OBFL; オンボード障害ログング) ブートと動作時間情報を表示します。
device-version	OBFL デバイスのバージョン情報を表示します。
endtime	<i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i> 形式で指定された終了時刻までの OBFL ログを表示します。
environmental-history	OBFL 環境履歴を表示します。
exception-log	OBFL 例外ログを表示します。
kernel-trace	OBFL カーネル トレース情報を表示します。
obfl-history	OBFL 履歴情報を表示します。
obfl-logs	OBFL テクニカル サポート ログ情報を表示します。
stack-trace	OBFL カーネル スタック トレース情報を表示します。
starttime	<i>mm/dd/yy-HH:MM:SS</i> 形式で指定された開始時刻からの OBFL ログを表示します。
status	OBFL ステータスがイネーブルであるかディセーブルであるかを表示します。
> file	(任意) 出力をファイルにリダイレクトします。詳細情報については、「使用上のガイドライン」の項を参照してください。
 type	(任意) 出力にフィルタを適用します。詳細情報については、「使用上のガイドライン」の項を参照してください。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

starttime および **endtime** キーワードの日付と時刻の引数は、月/日/年 (*mm/dd/yy*) として入力し、時刻がハイフンの後に 24 時間形式で時間:分:秒 (*HH:MM:SS*) で続きます。次に例を示します。

- **starttime** 03/17/08-15:01:57
- **endtime** 03/18/08-15:04:57

file の有効値は、次のとおりです。

- **bootflash:**
- **ftp:**
- **scp:**
- **sftp:**
- **tftp:**
- **volatile:**

type の有効値は、次のとおりです。

- **begin [-i] [-x] [word]** : テキストに一致する行で始まります。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。
- **count [> file] || type** : 一致する行をカウントします。
- **egrep | grep print-match** : Egrep または Grep です。Egrep は、Grep よりも高度な正規表現の構文を使用して、一致するテキストの行を検索します。Grep は 1 つ以上の正規表現に一致するテキストの行を検索し、一致する行だけを出力します。
 - **-A num** : すべての一致行の後に、指定した行数のコンテキストを出力します。有効な範囲は、1 ~ 999 です。
 - **-B num** : すべての一致行の前に、指定した行数のコンテキストを出力します。有効な範囲は、1 ~ 999 です。
 - **-c** : 一致行の合計数だけを出力します。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-n** : 各行番号の後にそれぞれの一致内容を出力します。
 - **-v** : *word* 引数に一致するものがない行だけを出力します。
 - **-w** : 語が完全に一致する行だけを出力します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。
- **exclude [-i] [-x] [word]** : テキストに一致する行を除外します。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。
- **head [-n num]** : ストリーム エディタ。オプションの **-n num** キーワードと引数を使用すると、出力する行数を指定できます。有効な範囲は、0 ~ 2147483647 です。
- **include [-i] [-x] [word]** : テキストに一致する行を含めます。
 - **-i** : 文字列を比較するときに、大文字小文字の違いを無視します。
 - **-x** : 行全体が一致する行だけを出力します。
 - **word** : 表現を指定します。
- **last [num]** : 出力する最後の行を表示します。オプションの *num* で、出力する行数を指定します。有効な範囲は、0 ~ 9999 です。
- **less [-E | -d]** : ファイルの最後で終了します。

- **-E** : (任意) ファイルの最後で終了します。
- **-d** : (任意) ダム ターミナルを指定します。
- **no-more** : コマンド出力の割り付けをオフにします。
- **sed command** : ストリーム エディタ
- **wc** : 語、行、文字数をカウントします。
 - **-c** : (任意) 出力する文字数を指定します。
 - **-l** : (任意) 出力する行数を指定します。
 - **-w** : (任意) 出力する語数を指定します。
 - **>** : ファイルにリダイレクトします。
 - **|** : フィルタにコマンド出力をパイプします。

このコマンドを使用すると、システム ハードウェアから OBFL データを表示できます。OBFL 機能はデフォルトでイネーブルになっており、Cisco ルータまたはスイッチにインストールされているハードウェア カードまたはモジュールの問題の診断に役立つ動作温度、ハードウェア動作時間、中断、その他の重要なイベントとメッセージを記録します。データのログは、不揮発性メモリに格納されるファイルに作成されます。オンボード ハードウェアが起動すると、監視されている各領域で最初のレコードが作成され、後続のレコードの基準値となります。

OBFL 機能は、継続的なレコードの収集と古い (履歴) レコードのアーカイブで循環更新スキームを提供し、システムに関する正確なデータを保証します。データは、測定と継続ファイルのサンプルのスナップショットを表示する継続情報の形式、または収集したデータに関する詳細を提供する要約情報の形式のいずれかで記録されます。履歴データが利用できない場合は、「No historical data to display」というメッセージが表示されます。

例

次に、OBFL ブートと動作時間情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard boot-uptime
Sun Nov  9 06:11:59 2008:  Boot Record
-----
Boot Time.....:  Sun Nov  9 06:11:58 2008
Slot Number.....:  1
Serial Number.....:  FLC12280050
Bios Version.....:  v1.2.0(06/19/08)
Firmware Version...:  4.0(1a)N1(1) [build 4.0(1a)N1(1)]
```

表 1 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 1 show logging onboard boot-uptime コマンドの出力

フィールド	説明
Boot Time	ブートが発生した時刻
Slot Number	スロット番号。
Serial Number	モジュールのシリアル番号
Bios Version	プライマリ Binary Input and Output System (BIOS) のバージョン
Firmware Version	ファームウェアのバージョン

次に、OBFL ロギング デバイス情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard device-version
```

```

-----
OBFL Data for
  Module: 1
-----

Device Version Record
-----
Timestamp                Device Name          Instance Hardware Software
                          Num      Version  Version
-----
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                2          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                3          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                4          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                5          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                6          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                7          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                8          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS                9          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS               10          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS               11          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS               12          2          0
Sun Nov 3 07:07:00 2008  GATOS               13          2          0
Mon Nov 4 00:15:08 2008  ALTOS                0          2          0
Mon Nov 4 00:15:08 2008  GATOS                0          2          0
Mon Nov 4 00:15:08 2008  GATOS                1          2          0
Mon Nov 4 00:15:08 2008  GATOS                2          2          0

```

表 2 に、この出力で表示される重要なフィールドの説明を示します。

表 2 show logging onboard device-version コマンドの出力

フィールド	説明
Timestamp	曜日、日付、時刻
Device Name	デバイス名。
Instance Num	インスタンス数
Hardware Version	ハードウェア デバイスのバージョン
Software Version	ソフトウェア デバイスのバージョン

次に、OBFL 履歴情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard obfl-history
```

show logging onboard obfl-history コマンドは、次の情報を表示します。

- OBFL が手動でディセーブルにされたときのタイムスタンプ
- OBFL が手動でイネーブルにされたときのタイムスタンプ
- OBFL データが手動でクリアにされたときのタイムスタンプ

次に、OBFL カーネル スタック トレース情報を表示する例を示します。

```
switch# show logging onboard stack-trace
```

show logging onboard stack-trace コマンドは、次の情報を表示します。

- 秒単位の時間
- ミリ秒単位の時間
- エラーを説明する文字列

■ show logging onboard

- 現在のプロセス名と ID
- カーネル ジフィー
- スタック トレース

関連コマンド

コマンド	説明
clear logging onboard	永続ログの OBFL エントリをクリアします。
hw-module logging onboard	エラーのタイプに基づいて OBFL エントリをイネーブルまたはディセーブルにします。

show logging pending

Syslog サーバの設定に対する保留中の変更を表示するには、**show logging pending** コマンドを使用します。

show logging pending

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Syslog サーバの設定に対する保留中の変更を表示する例を示します。

```
switch# show logging pending
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging abort	Syslog サーバ設定に対する保留中の変更をキャンセルします。

show logging pending-diff

Syslog サーバの現在の設定と保留中の変更との差異を表示するには、**show logging pending-diff** コマンドを使用します。

show logging pending-diff

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Syslog サーバの現在の設定と保留中の変更との差異を表示する例を示します。

```
switch# show logging pending-diff
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging abort	Syslog サーバ設定に対する保留中の変更をキャンセルします。

show logging session status

ロギングセッションステータスを表示するには、**show logging session status** コマンドを使用します。

show logging session status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ロギングセッションステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging session status
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging level	定義済みファシリティからのメッセージロギングをイネーブルにします。

show logging server

Syslog サーバの設定を表示するには、**show logging server** コマンドを使用します。

show logging server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Syslog サーバの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging server
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging server	リモート Syslog サーバを設定します。

show logging status

ロギング ステータスを表示するには、**show logging status** コマンドを使用します。

show logging status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ロギング ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show logging status
Fabric Distribute      : Enabled
Session State         : IDLE
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging distribute	Cisco Fabric Service (CFS) インフラストラクチャを使用して、ネットワーク スイッチへの Syslog サーバ設定の配布をイネーブルにします。

show logging timestamp

ロギング タイムスタンプの設定を表示するには、**show logging timestamp** コマンドを使用します。

show logging timestamp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ロギング タイムスタンプの設定を表示する例を示します。

```
switch# show logging timestamp
```

関連コマンド

コマンド	説明
logging timestamp	ロギング タイムスタンプの細かさを設定します。

show ntp peer-status

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) ピアのステータスを表示するには、**show ntp peer-status** コマンドを使用します。

show ntp peer-status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、NTP のピア ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp peer-status
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp peers	NTP ピアに関する情報を表示します。

show ntp peers

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) ピアに関する情報を表示するには、**show ntp peers** コマンドを使用します。

show ntp peers

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、NTP ピアに関する情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp peers
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ntp peer-status	NTP ピアに関するステータス情報を表示します。

show ntp statistics

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) の統計情報を表示するには、**show ntp statistics** コマンドを使用します。

```
show ntp statistics {io | local | memory | peer} {ipaddr address | name name1 [..nameN]}
```

構文の説明

io	入出力統計情報を表示します。
local	ローカル NTP により保持されているカウンタを表示します。
memory	メモリ コードに関連する統計カウンタを表示します。
peer	ピアのピア単位の統計カウンタを表示します。
ipaddr address	設定した IPv4 または IPv6 アドレスのピアの統計情報を表示します。IPv4 アドレスの形式は、ドット付き 10 進数 x.x.x.x です。IPv6 アドレスの形式は、16 進数 A:B::C:D です。
name name1	指定したピアの統計情報を表示します。
..nameN	(任意) 1 つ以上の指定ピアの統計情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、NTP の統計情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp statistics local
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ntp statistics	NTP 統計情報をクリアします。

show ntp timestamp-status

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) タイムスタンプ情報を表示するには、**show ntp timestamp-status** コマンドを使用します。

show ntp timestamp-status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、NTP タイムスタンプのステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show ntp timestamp-status
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ntp statistics	NTP 統計情報をクリアします。
ntp	スイッチに NTP ピアおよびサーバを設定します。

show snmp community

スイッチに設定されている Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コミュニティ ストリングを表示するには、**show snmp community** コマンドを使用します。

show snmp community

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SNMP コミュニティ ストリングを表示する例を示します。

```
switch# show snmp community
Community          Group / Access      context      acl_filter
-----          -
public             network-admin
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server community	SNMP プロトコルへのアクセスを許可するコミュニティ アクセス ストリングを設定します。

show snmp context

スイッチに設定されている Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コンテキストを表示するには、**show snmp context** コマンドを使用します。

show snmp context

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SNMP コンテキストを表示する例を示します。

```
switch# show snmp context
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server context	SNMP コンテキストを設定します。

show snmp engineID

ローカルの Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) エンジンの ID を表示するには、**show snmp engineID** コマンドを使用します。

show snmp engineID

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

SNMP エンジンは、ローカルまたはリモート デバイスに常駐できる SNMP のコピーです。SNMP パスワードは、権威 SNMP エンジンの SNMP ID を使用してローカライズされます。

例

次に、SNMP エンジン ID を表示する例を示します。

```
switch# show snmp engineID
Local SNMP engineID: [Hex] 8000000903000DECB230C0
                    [Dec] 128:000:000:009:003:000:013:236:178:048:192
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config snmp	SNMP に関する実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show snmp group

スイッチに設定されている Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) グループの名前を表示するには、**show snmp group** コマンドを使用します。

show snmp group

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SNMP グループを表示する例を示します。

```
switch# show snmp group
```

```
Role: network-admin
```

```
Description: Predefined network admin role has access to all commands
on the switch
```

```
-----
Rule      Perm    Type      Scope      Entity
-----
1         permit  read-write
```

```
Role: network-operator
```

```
Description: Predefined network operator role has access to all read
commands on the switch
```

```
-----
Rule      Perm    Type      Scope      Entity
-----
1         permit  read
```

```
Role: vdc-admin
```

```
Description: Predefined vdc admin role has access to all commands within
a VDC instance
```

```
-----
Rule      Perm    Type      Scope      Entity
-----
1         permit  read-write
```

```
Role: vdc-operator
```

```
Description: Predefined vdc operator role has access to all read commands
within a VDC instance
```

```
-----
Rule      Perm    Type      Scope      Entity
-----
1         permit  read
```

```

Role: priv-3
  Description: This is a system defined privilege role.
  vsan policy: permit (default)
  Vlan policy: permit (default)
  Interface policy: permit (default)
  Vrf policy: permit (default)

```

```

Role: priv-2
  Description: This is a system defined privilege role.
  vsan policy: permit (default)
  Vlan policy: permit (default)
  Interface policy: permit (default)
  Vrf policy: permit (default)

```

```

Role: priv-1
  Description: This is a system defined privilege role.
  vsan policy: permit (default)
  Vlan policy: permit (default)
  Interface policy: permit (default)
  Vrf policy: permit (default)

```

```

Role: priv-0
  Description: This is a system defined privilege role.
  vsan policy: permit (default)
  Vlan policy: permit (default)
  Interface policy: permit (default)
  Vrf policy: permit (default)

```

Rule	Perm	Type	Scope	Entity
10	permit	command		traceroute6 *
9	permit	command		traceroute *
8	permit	command		telnet6 *
7	permit	command		telnet *
6	permit	command		ping6 *
5	permit	command		ping *
4	permit	command		ssh6 *
3	permit	command		ssh *
2	permit	command		enable *
1	permit	read		

```

Role: priv-15
  Description: This is a system defined privilege role.
  vsan policy: permit (default)
  Vlan policy: permit (default)
  Interface policy: permit (default)
  Vrf policy: permit (default)

```

Rule	Perm	Type	Scope	Entity
1	permit	read-write		

```
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config snmp	SNMP に関する実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show snmp host

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ホスト情報を表示するには、**show snmp host** コマンドを使用します。

show snmp host

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SNMP ホストを表示する例を示します。

```
switch# show snmp host
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server host	SNMP ホストを設定します。

show snmp sessions

現在の Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) セッションを表示するには、**show snmp sessions** コマンドを使用します。

show snmp sessions

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SNMP セッションを表示する例を示します。

```
switch# show snmp sessions
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config snmp	SNMP に関する実行コンフィギュレーション情報を表示します。

show snmp trap

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) リンク トラップ生成情報を表示するには、**show snmp trap** コマンドを使用します。

show snmp trap

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、SNMP トラップを表示する例を示します。

```
switch# show snmp trap
```

Trap type	Description	Enabled
entity	: entity_mib_change	Yes
entity	: entity_module_status_change	Yes
entity	: entity_power_status_change	Yes
entity	: entity_module_inserted	Yes
entity	: entity_module_removed	Yes
entity	: entity_unrecognised_module	Yes
entity	: entity_fan_status_change	Yes
link	: linkDown	Yes
link	: linkUp	Yes
link	: IETF-extended-linkDown	Yes
link	: IETF-extended-linkUp	Yes
link	: cisco-extended-linkDown	Yes
link	: cisco-extended-linkUp	Yes
callhome	: event-notify	No
callhome	: smtp-send-fail	No
cfs	: state-change-notif	No
cfs	: merge-failure	No
rf	: redundancy_framework	Yes
aaa	: server-state-change	No
license	: notify-license-expiry	Yes
license	: notify-no-license-for-feature	Yes
license	: notify-licensefile-missing	Yes
license	: notify-license-expiry-warning	Yes
zone	: unsupp-mem	No
upgrade	: UpgradeOpNotifyOnCompletion	Yes
upgrade	: UpgradeJobStatusNotify	Yes
feature-control	: FeatureOpStatusChange	No
sysmgr	: cseFailSwCoreNotifyExtended	No
rmon	: risingAlarm	No

```
rmon          : fallingAlarm          No
rmon          : hcRisingAlarm         No
rmon          : hcFallingAlarm        No
config       : ccmCLIRunningConfigChanged No
snmp         : authentication         No
bridge       : topologychange        No
bridge       : newroot                No
stp          : inconsistency          No
stp          : loop-inconsistency     No
stp          : root-inconsistency     No
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp trap link-status	SNMP リンク トラップの生成をイネーブルにします。

show snmp user

個々の簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）ユーザの情報を表示するには、**show snmp user** コマンドを使用します。

show snmp user

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N2(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スイッチ上で設定された SNMP ユーザを表示する例を示します。

```
switch# show snmp user
```

```

SNMP USERS
-----
User                               Auth  Priv(enforce) Groups
-----
admin                               md5   des(no)         network-admin
NOTIFICATION TARGET USERS (configured for sending V3 Inform)
-----

```

```

User                               Auth  Priv
-----
switch#

```

次に、特定のユーザ アカウントに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show snmp user admin
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server user	SNMP グループに新しいユーザを設定します。